

※ 附帯決議：議案が議案を可決した際に、その議案の施行等に対する議会としての意思を表明するものとして行う決議のこと。
 なお、法的拘束力はありません。

令和8年 3月定例会

あらまし

令和8年3月定例会は、2月27日から3月25日までの27日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告3件、選挙管理委員に関する選挙のほか、市長専決処分の報告と承認が1件、条例の制定・一部改正が18件、令和7年度補正予算5件、令和8年度予算10件、令和8年度補正予算1件、副市長等の人事案件5件、そのほか市道の認定・廃止等4件が市長から提出されました。また、議員からは新年度予算に対する附帯決議など4件が提出され、一部を除き各常任委員会に付託、慎重に審査・審議を行いました。本会議では1議案を否決し、そのほかは原案のとおり可決しました。本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

「渋川回生」改革元年 令和8年度当初予算を可決

副市長の選任

不在となっている副市長に堀越正勝氏を選任するものです。全員一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

令和8年6月30日で任期満了となる委員の後任に泉あけみ氏を推薦するもので、全員一致で同意しました。

監査委員の選任

令和8年3月31日で任期満了となる委員の後任に高木捷治氏を選任するもので、全員一致で同意しました。

教育委員会委員の任命

令和8年3月31日で辞職する委員の後任に千明大志氏を、令和8年5月19日で任期満了となる委員の後任



子ども誰でも通園制度が実施されているこもち幼稚園

に根井勝広氏をそれぞれ任命するものです。いずれも全員一致で同意しました。

特定乳児等通園支援事業の利用料を制定

今年度から全国で本格実施する「こども誰でも通園制度」の利用料を市内居住

者は無料、市外居住者は1時間300円とするもので、全員一致で可決しました。

消防団の組織機構の見直しと団員の処遇改善

団員の定数削減と、年額報酬の見直しと出勤報酬の新設をする条例改正です。全員一致で可決しました。

令和8年度予算を可決

一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算は多数決で、そのほかの予算は全員一致でそれぞれ原案のとおり可決しました。

令和8年度一般会計予算に対する附帯決議を可決

令和8年度に予定している旧赤城キャンプ場の施設

解体について、キャンプ場は廃止済みだが、地元小学生の活動や登山客が現在も使用しているトイレは解体せずに残すこと等を求める附帯決議が提出され、全員一致で可決しました。附帯決議全文は6ページ参照。

市議会議員の報酬を増額

市議会議員の報酬を増額する条例改正と、報酬の増額に対応する補正予算(令和8年一般会計補正予算第1号)が提出され、それぞれ賛成多数で可決しました。報酬は30年以上改正されておらず、昨今の地方議会議員のなり手不足の状況での多様な人材の確保等のた

議員報酬の増額一覧

	改正前 (令和8年3月まで)	改正後 (令和8年4月以降)
議長	435,000円	470,000円
副議長	390,000円	440,000円
常任委員長および 議会運営委員長	365,000円	420,000円
常任副委員長および 議会運営副委員長	360,000円	415,000円
議員	360,000円	410,000円

め、適正な報酬額への増額を議会から求め、左図のとおり改正に至りました。よりいっそう質の高い議会運営と責任ある議員活動の実現に努めます。

※「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」における過疎地域の対象区域。人口減少率や財政指数等により決定されます。

常任委員会の審査



▲議案審査の映像は
はこちらから
ご覧ください

常任委員会では、本会議で最終的な採決を行う前に、議案の詳細な審査を行います。また、常任委員会協議会では、市から各事業の報告・説明を受けます。各常任委員会での主な審査内容等をお知らせします。

総務市民

審査結果 付託された8議案はすべて全会一致で可決しました。

茨川市消防団条例の一部を改正する条例

定数662人を639人に削減、年額報酬を引き下げ、出勤報酬を新設します。**質疑** 定数削減となる第16分団、第24分団の状況は。

答弁 第16分団(水沢地区)は第14分団に統合され、統合後の分団を2部体制とし、旧14分団が第1部、旧16分団が第2部となります。第24分団(上白井地区)は第23



伊香保地区の融雪施設
(ロードヒーター)

分団に統合され、同様に旧23分団が第1部、旧24分団が第2部となります。**第2期茨川市過疎地域持続的発展計画の策定** 茨川市の過疎地域(伊香保地区・小野上地区・赤城地区)の人口減少対策と地域活性化のための計画です。**質疑** 財政的に有利な過疎対策事業債の活用方法は。**答弁** 主に道路や伊香保地区の融雪施設などハード事業に活用を予定しています。

経済建設

審査結果 付託された3議案はすべて全会一致で可決しました。

経済建設常任委員会協議会 SUNおのがみ等の無償譲渡の辞退

無償譲渡を受ける候補となっていた法人が、辞退したことが報告されました。

質疑 今後再募集などをする前に、土地の条件を市が整理する必要があるのでは。

答弁 方法の一つであると考えます。あらゆる選択肢を検討し進めていきます。**金井地区・北橋町真壁地区の道路破損状況の経過** 議員全員協議会で視察した道路破損の対応状況報告。

質疑 土砂搬入の大型ダンブ車両の通行が破損の原因と考えられる。土砂搬入の許可を出す県と連携し、搬入車両の通行を事前に把握し、道路破損の未然防止を。**答弁** 事前に報告を受ける制度はありませんが、引き続き県と連携していきます。

教育福祉

審査結果 付託された10議案のうち7議案は全会一致で可決、2議案は多数決で可決、1議案は多数決で否決しました。

茨川市特定乳児等通園支援事業の利用料に関する条例 (議案第21号)

保育所等に通っていない0歳6か月から3歳未満の児童が利用できる「こども誰でも通園事業」の利用料を、居住地の市内外に関わらず1時間300円と定めようとするものです。料金設定の根拠や必要性に関する質疑が行われ、多数決で否決しました。

茨川市特定乳児等通園支援事業の利用料に関する条例 (議案第50号)

前述の議案第21号が本会議で否決された後、利用料を市内居住者は無料、市外居住者は1時間300円と定めようとする条例案が別途提出され、全会一致で可決しました。

予算

(令和7年度補正予算)

審査結果 付託された5議案はすべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第8号) ぐんま賃上げプロジェクト連携事業

県の「ぐんま賃上げ促進支援金」に、市が従業員一人当たり2万円の奨励金を上乘せし支給するもの。

国の補正予算への対応事業

国の「強い経済を実現する総合経済対策」への対応。

- ・ 県産飼料増産対策支援
- ・ 市道改良、橋の維持補修

社会保障給付費等を増額

障害児通所支援事業、自立支援給付事業、教育・保育給付事業の増額

基金への積み立て

財政調整基金、減債基金、庁舎建設基金、ふるさと創生基金への積み立て

質疑

高騰が見込まれる庁舎建設費用を確保できるか。**答弁** コンパクトな新庁舎を考慮しており、今後も適宜積立金を追加していきます。

令和8年度予算を紹介します

「渋川回生」改革元年予算

議会が注目した重点事業

空家等対策推進事業

拡充 1,043万円

従前の事業に加え、令和8年度は第3期空家等対策計画の策定に向けた空家等実態調査を実施



企業誘致促進事業

拡充 4,683万円

- ・渋川市に進出する企業への補助対象経費にパソコン、プリンターの購入費用を追加
- ・展示会等出展支援補助金を拡充



JR八木原駅周辺整備事業

22億1,183万円

- ・令和10年度までの計画期間
- ・令和8年度は自由通路・駅舎整備工事、駅前広場整備工事、東側用地取得を実施



瀧沢石器時代遺跡保存整備事業

6,807万円

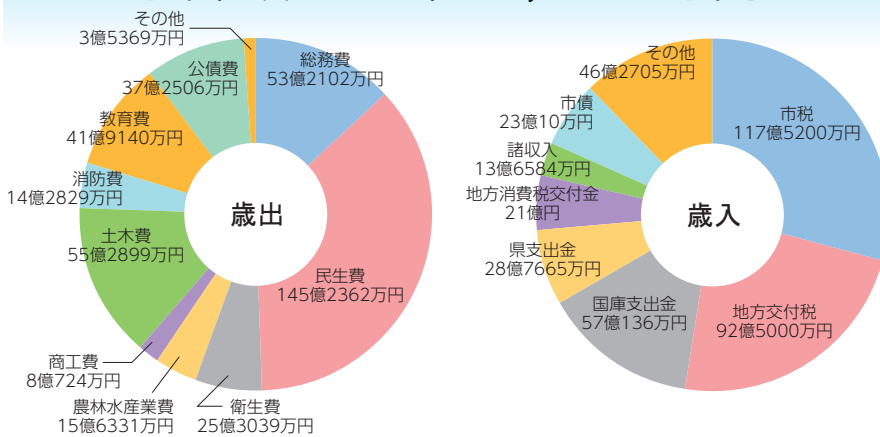
- ・国指定史跡の維持管理
- ・4年計画のうち2年目の令和8年度は造成工事を実施



令和8年度予算の概要

一般会計

予算額 399億7,300万円



※万円未満を四捨五入しているため、予算額の内訳と合計が一致しません

一般会計		399億7300万円	
特別会計	国民健康保険	85億2598万円	
	後期高齢者医療	16億4116万円	
	介護保険	95億7184万円	
	農産物直売事業	172万円	
	伊香保温泉観光施設事業	2億2097万円	
	小野上温泉事業	1357万円	
	交流促進センター事業	965万円	
特別会計合計		199億8488万円	
企業会計	水道事業	収益的支出 19億6923万円 資本的支出 14億6496万円	
	下水道事業等	収益的支出 26億9084万円 資本的支出 26億6914万円	
	企業会計合計		87億9416万円
	総計(一般会計・特別会計・企業会計)		687億5204万円

令和8年度予算案の 審査・審議



一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算は多数決、そのほかの予算は全会一致で原案のとおり可決しました。

また、一般会計予算可決後、旧赤城キャンプ場のトイレ解体に関する附帯決議が提出され、全会一致で可決しました。

予算常任委員会での主な質疑は次のとおりです。

一般会計

一般会計予算全体について

質疑 過去最大の予算規模となった要因は。

答弁 J R八木原駅周辺整備事業や社会保障給付費の増加、物価や人件費の高騰などによるものです。

登山道維持管理事業

質疑 旧赤城キャンプ場の解体工事と跡地の計画は。

答弁 旧キャンプ場にある管理棟、シャワー棟、トイレ棟、バンガローなど全施設を解体し、簡易仮設トイレを一基設置します。駐車場は引き続き使用できます。



解体せず残すことなどが望まれる旧赤城キャンプ場のトイレ

察・保護を行う児童や一般登山者の利用状況を把握し、今後の環境整備に努めます。

高齢者外出支援事業

質疑 将来的に紙のタクシー利用券は廃止するのか。

答弁 タクシー券に代わり、らくらく交通サービス(MaaS)を活用した交通系ICカードの割引への移行を促進しています。令和9年度をもって紙のタクシー券を廃止し、令和10年度以降は交通系ICカード割引への完全移行を目指します。

大学生等通学応援事業

質疑 通学費補助の対象を、

答弁 36・1kmに拡大した理由は、通学による転出を抑制するため、市内からの通学支援を強化するものです。

空家等対策推進事業

質疑 第3期空家等対策計画の策定に向けた空家等実態調査の実施方法は。

答弁 以前は自治会にお願いしていましたが、自治会の負担軽減のため、業者委託することとしました。

老人クラブ助成事業

質疑 予算減額の根拠は。

答弁 会員数300人弱の減少を見込んでの減額です。

質疑 会員数減への対応は。

答弁 広報等での周知や積極的な声かけ、イベント時の宣伝などに取り組みます。

産後ケア事業

質疑 事業拡大した部分は。

答弁 宿泊利用が可能な施設を増やします。また、7日間の産後ケア利用終了後、さらに支援が必要な方への3日間の訪問支援(ママ応援プラス訪問型)の利用者負担を無料化します。

企業誘致促進事業

質疑 令和8年度から新設

答弁 される推進室の取り組みは、産業用地の創出、市の魅力・立地特性の把握、産業活用資源の掘り起こし、市内企業の経営基盤の安定化支援、市内高校との連携による人材のマッチングなど、効果的・効率的な産業の活性化に取り組みます。

アニメツーリズム推進事業

質疑 事業拡充の理由は。

答弁 県や関係自治体と連携し実施する頭文字Dを活用したインバウンド誘客促進のためです。また、昨年実施した観光需要調査において、アニメツーリズム推進の市の取り組みが不足と提言を受けたためです。

社会体育施設維持管理事業

質疑 大型冷風機の試験導入とは。

答弁 JESSCOアリーナ(渋川三子持社会体育館)に、試験的に1階に4台を設置し、風の影響を受けない競技に使用します。

総合公園整備事業

質疑 令和11年の国民スポーツ大会で軟式野球の競技会場となる総合公園野球場

答弁 の改修予定は。令和8年度はファウ



ファンの聖地巡礼が期待されるアニメツーリズム

※ウォーニングゾーン：野球場でフェンス際の激突を防ぐための目印となる、外野フェンスとフェンスの内側に引かれたラインとの間のスペースのこと。

【答弁】 令和7年度のポイント申請率は、2月20日時点で58・1%です。受診率は60%を目差しています。

国保健診ポイント事業
質疑 受診率向上のため特定健診受診者に渋Payポイントを付与する事業だが、実績と目標は。

**国民健康保険
特別会計**



国民スポーツ大会に向けて
順次改修が進む総合公園野球場

ルポール改修、側溝ふた交換を行い、翌年度以降はバックネット支柱やベンチ内の安全対策、スコアボード一部改修、ウォーニングゾーン拡張を予定しています。

**討
論**

3月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。
 討論とは、議案等を議決する前に賛成・反対の意見を述べることをいいます。

「令和8年度 渋川市一般会計予算」

**賛
成**

総合計画に位置づける6つの施策大綱に基づき、バランスの取れた、持続可能な渋川市を積極的につくる予算だと評価する。
 具体的には、次期総合計画策定や新庁舎整備、公共施設の再編統合など、今後の市の方向性を決めていく取り組み、小学校低学年からの英語教育、農業支援、観光誘客など、市の活性化につながる施策が盛り込まれている。
 可決された附帯決議や、予算審議での議員からのさまざまな意見を真摯に受け、市民福祉向上や地域振興、安心安全な生活実現を要望し、賛成する。

**反
対**

学校給食費や子どもの医療費の無償化の継続、加齢性難聴者の補聴器購入補助の継続など、評価できる事業もある。
 一方、小中学校適正規模・適正配置の基本計画策定期間の短縮は無理があると言わざるを得ない。
 また、市民の暮らしや地域に根ざした中小・小規模事業者の支援が極めて不十分である。
 国のいう行政改革を進めるのではなく、国の悪政から市民の暮らしを守る防波堤の役割を果たし、どこで生活しても公平・公正な行政サービスが受けられるよう要望する。

原案可決 議案第34号 令和8年度渋川市一般会計予算に対する附帯決議

7款商工費1項商工費4目観光施設費の登山道維持管理事業について、令和2年度に廃止となった旧赤城キャンプ場施設の解体工事費が計上されています。

ここは、ヒメギフチョウが生息するモロコシ山、矢筈山等に登る中継地として毎年使われています。また、ヒメギフチョウ保護活動の拠点として、ヒメギフチョウを守る会、群馬県、教育委員会の職員が訪れるほか、津久田小学校の児童の野外学習の場でもあり、多くの人が利用している施設です。

来年度予算では、トイレを含め、管理棟、バンガロー棟の当該施設の全てを解体し、解体後は簡易トイレを1基設置予定との答弁がありました。

しかし、現在の利用状況やヒメギフチョウを守る子どもたちの活動促進等を鑑みると、当該施設周辺にトイレはなく、簡易トイレ1基のみでは対応が不十分であり、利用者に支障が生じます。また、子どもたちのヒメギフチョウを守る活動にも支障を来すこととなります。

よって、現在のトイレは引き続き利用できるよう解体しないこと、または、解体する場合は、利用者に不便が生じない数の簡易トイレの設置を強く求めることとし、附帯決議といたします。

令和8年3月25日
群馬県渋川市議会